

福島第二原子力発電所の累計発電電力量7,000億キロワット時の達成について
～地域の皆さまに支えられて28年 化石燃料の消費抑制、CO₂の排出抑制に大きく貢献～

平成21年7月28日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所（総出力440万キロワット）は、永年にわたる地域の皆さまのご理解・ご協力に支えられ、昭和56年7月31日に1号機が試運転による発電を開始してから今年で28年目を迎えますが、平成21年7月28日午前10時頃、累計発電電力量が7,000億キロワット時^{*1}に達しました。

燃料供給の安定性や経済性に優れる原子力発電は、発電時にCO₂を排出しないため、地球温暖化対策に極めて有効な発電方式です。

このたび達成した累計発電電力量7,000億キロワット時を石油火力発電所において発電した場合に使用される原油量に換算すると、日本全体の年間原油輸入量^{*2}の約7割にあたる約1億5,900万キロリットル^{*3}に相当し、貴重なエネルギー資源である化石燃料の消費を抑制したことになります。

また、この電力量をすべて石油火力により発電した場合と比べると、約4億6,500万トンのCO₂排出を抑制したことになり、これは日本全体の年間CO₂排出量^{*4}の約4割に相当する量となります。

当所は、今後とも、地域の皆さまからの信頼と安全確保を第一に、発電所の安定運転に努めてまいります。

以上

*1：キロワット時

「キロワット時」は、ある一定時間の電力量を示す単位。

（例）ヘア・ドライヤー（出力1.2キロワット）を1時間連続で使った場合の電力消費量は、1.2キロワット時。

*2：日本全体の年間原油輸入量

平成20年度実績で2億3,441万キロリットル。〔出典：経済産業省 エネルギー統計〕

*3：約1億5,900万キロリットル

ドラム缶（200リットル）約7億9,500万本分の原油に相当し、つなげると地球（円周約4万キロメートル）を約18周する長さになる。

*4：日本全体の年間CO₂排出量

平成19年度実績で13億400万トン。〔出典：環境省報道発表資料（平成21年4月30日）〕

1. 達成日時

平成21年7月28日(火)午前10時頃

2. 7,000億キロワット時の達成までの経緯

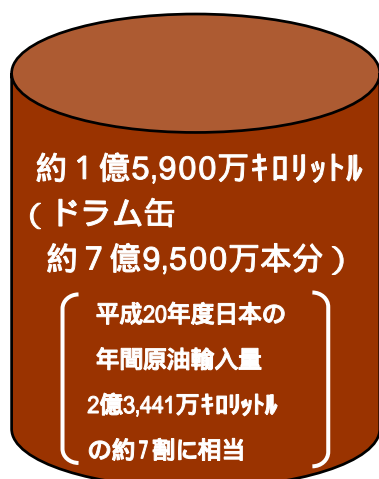
- ・ 1号機試運転開始 昭和56年7月31日
- ・ 1,000億キロワット時到達 昭和62年10月21日
- ・ 2,000億キロワット時到達 平成3年7月25日
- ・ 3,000億キロワット時到達 平成6年12月23日
- ・ 4,000億キロワット時到達 平成10年1月26日
- ・ 5,000億キロワット時到達 平成13年2月16日
- ・ 6,000億キロワット時到達 平成18年3月25日

3. 7,000億キロワット時のプラント別発電状況

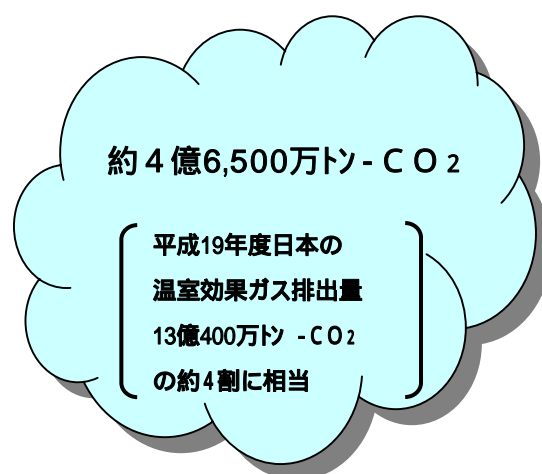
	出力	累計発電電力量	営業運転開始日
1号機	110万キロワット	約2,027億キロワット時	昭和57年4月20日
2号機	110万キロワット	約1,848億キロワット時	昭和59年2月3日
3号機	110万キロワット	約1,565億キロワット時	昭和60年6月21日
4号機	110万キロワット	約1,560億キロワット時	昭和62年8月25日

4. 地球温暖化防止への貢献

7,000億キロワット時達成により、消費を抑制した原油量は約1億5,900万キロリットル、排出を抑制したCO₂量は約4億6,500万トン。



原油消費抑制量



CO₂排出抑制量

5 . 当社原子力発電所の累計発電電力量（平成21年7月28日現在）

- ・ 福島第一原子力発電所：約 8,958億キロワット時
 - ・ 福島第二原子力発電所： 7,000億キロワット時
 - ・ 柏崎刈羽原子力発電所：約 8,244億キロワット時
-
- 累計発電電力量 約 2兆4,202億キロワット時

6 . 福島第二原子力発電所の位置づけ

- ・ 発電出力：440万キロワット
[自社発電設備 6,398万キロワットの約7%]
- ・ 発電電力量：約325億キロワット時（平成20年度）
[自社発電電力量 2,597億キロワット時の約13%]
- ・ 累計設備利用率：72.6%（平成21年6月末現在）